

アプリケーション概要

Adobe Experience Manager Assets

魅力的なエクスペリエンスを準備から公開まで
インテリジェンスに導く、新世代のクラウド型
デジタルアセット管理



ブランドに対する顧客の印象を左右するのは、コンテンツです。ビジネスを成功させるには、いつでも顧客が接触してきてもよいように、適切なアセットを準備、活用できる組織的な能力を備える必要があります。

主要機能：

- › デジタルアセット管理
- › Adobe Creative Cloudとのネイティブ接続
- › ワークフローの自動化
- › リッチメディアの配信

Adobe Experience Cloudの一部であるAdobe Experience Manager Assetsは、エンドツーエンドでデジタルアセットを管理/配信する、カスタマイズや拡張が可能なクラウドネイティブのアプリケーションです。グローバルな組織はAdobe Experience Manager Assetsの高度な機能を使用することで、オペレーションの一元化、ワークフローの効率化、面倒な作業の自動化をおこない、かつてないほどに高まっているコンテンツの作成や配信に対する需要を満たし、リッチメディアをインテリジェントに配信することができます。

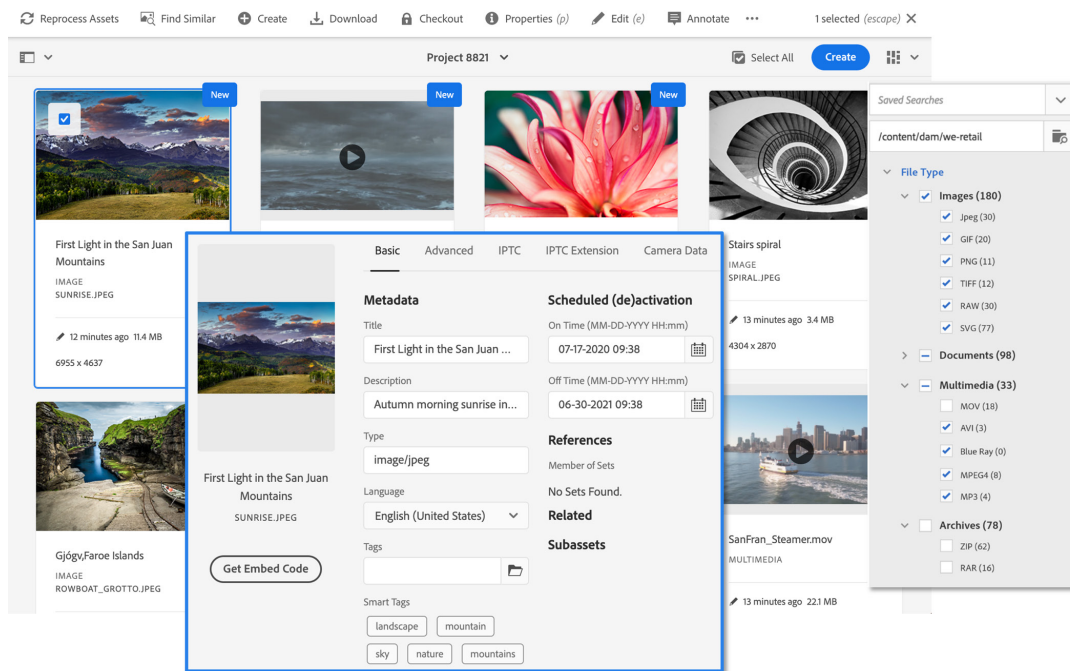
デジタルアセット管理

アセットは、顧客体験の基礎となります。適切なコンテンツに対する需要の高まりに応えるため、組織はかつてないほど迅速にアセットを制作、管理、配信する必要があります。Adobe Experience Manager Assetsはグローバルな組織に対し、検索や、メタデータ、分類管理と、きめ細かい権限ベースのアクセスを備えた、エンタープライズ対応のリポジトリを提供します。これらの機能により、関係者は単一のクラウドベースアプリケーションを使用して、コンテンツへのアクセスを厳密にコントロールしつつ、必要なときにすぐに利用することができます。

単一のアセットリポジトリをグローバルに一元管理 - 大量のアセットを中央リポジトリに一括アップロードし、ドラッグ&ドロップ操作の使いやすいインターフェイスとデスクトップアプリによって複雑なフォルダー階層をインポートすることができます。アップロードする際は、最先端の人工知能 (AI) であるAdobe Senseiやカスタムマイクロサービスを活用して、時間のかかる面倒な作業を自動化します。ユーザーは24時間365日いつでも必要なときにアセットへアクセス、検索、公開、編集できます。市場投入への期間を短縮し、社内全体のマーケターやクリエイター、事業部門でコンテンツを有効活用します。

コンテンツを手軽に操作 - 高度なメタデータ管理、優れたスマートタグ、動的な検索ファセット、直観的なビジュアル検索などにより、デジタルアセットの検索を効率化します。

Adobe Experience Manager Sitesからアセットに直接アクセス - webサイト制作者はAdobe Experience Manager Assetsに保存されているコンテンツに直接アクセスできます。Connected Assetsは、Adobe Experience Manager Sitesの利用者が、グローバルなデジタルアセット管理 (DAM) システムに保



Adobe Experience Manager Assetsなら、
堅牢なツールを活用してコンテンツを容易に分析、整理、管理できます。

存されたマスターファイルを変更することなく、ローカルエクスペリエンスをコントロールできるようにします。

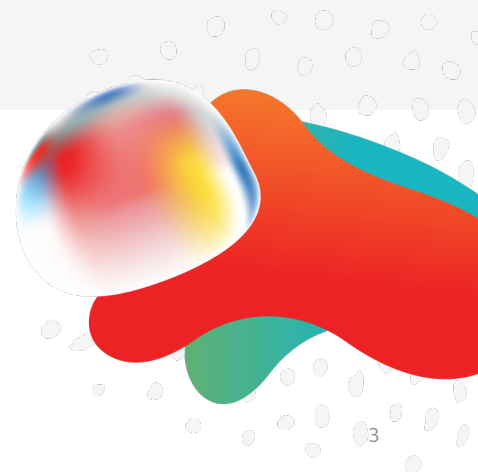
プロジェクト、タスク、ワークフローをトラッキング - コンセプトの立案からレビューと承認に至るまで、コンテンツとクリエイティブの制作工程を追跡します。ビジネスユーザーは、個々のアセットまたはコレクションをベースに、単純なアドホックワークフローや複雑なワークフローをデザインして実行できます。複数のバージョンを並べて容易に比較できるので、十分な情報にもとづく意思決定や、具体的なアクションにつながるフィードバックの提供が可能になります。

アセットコレクションの検索と共有を簡素化 - あらゆるアセット属性に関する検索ファセットの設定や全文インデックスの利用、関連性検索、チームや個人との自動更新コレクションなどをサポートします。関連するアセットをリンクさせることで、特定のキーワードの関連性を高め、重要なアセットの検索を簡素化します。Adobe Senseiの人工知

アセットマイクロサービスを 活用した自動化で時間を節約

クラウドネイティブアプリケーションである Adobe Experience Manager AssetsはAIを活用したアセットマイクロサービスを提供し、アセットの一括取り込みやレンディションなどの複雑なプロセスを、自動化された簡単なワークフローに変えることができます。こうしたCPU負荷を要するプロセスを、自動的な拡張に対応したクラウド環境へとオフロードすることで、DAMシステムのパフォーマンスと応答性を最大化しながら、パーソナライズされたエクスペリエンス配信の速度と効率性を強化します。

[さらに詳しく](#)



能を利用して、アセットの選択、コンテンツとカラースキーマの認識、DAMシステム内に保存されている類似アセットを検索できます。これにより、必要なコンテンツを見つける選択肢がさらに広がります。

アセットのインサイトと分析でROIを把握 - 使用状況と時間経過に伴うパフォーマンス（クリックスルー率、あらゆるデジタルチャネルにおけるインプレッション数など）にもとづいて、アセットを追跡します。直観的な統合型ダッシュボードにより、パフォーマンスをコンバージョンやROIと直接関連付けて確認できます。

アセット管理のコストを削減 - アセットの重複制作を防止しつつ、検索やタグ付け、編集、サイズ変更などの繰り返し作業にかかる時間を短縮します。システムに投入されるあらゆるアセットのタグ付け、監視、コントロールを自動化します。

デジタルアセット管理についてさらに詳しく：

business.adobe.com/jp/products/experience-manager/assets/digital-asset-management.html

アセットを共有、調達、配信するBrand Portal

コンテンツを広範なチームやパートナー、リセラーの手に渡すことは、常に頭の痛い問題でした。アセットはクラウドまたは内部コラボレーションサイトにアップロードされます。メールで送信されたリンク経由で共有、メール添付ファイルとして送信、またはUSBドライブ経由で渡されます。するとアセットは、様々なコンテンツ用に分散してしまうので、見つけづらくなる、あるいはどこにあるかすら判らなくなりがちです。ファイルのダウンロードには時間がかかることがあり、間違ったレンディションやバージョンがダウンロードされることも頻繁に発生します。また、同じ非効率な配布方法を使用して、これらの広範囲にわたる代理店やパートナー、チームからアセットを取得しようとするのは非常に面倒な作業です。

これを解決し、幅広い相手へのアセット共有を実現するのが、Experience Manager Assets Brand Portalです。

- 大規模な配信 - DAMへのアクセス権を付与しなくても参照やダウンロードが可能なセルフサービス方式のポータルにより、チームやパートナー、地域をまたいで広範なユーザーにアセットを安全に配信します。

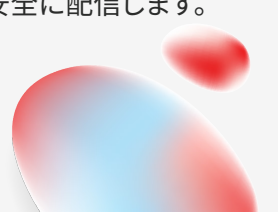
- アセットの調達 - 幅広いユーザーにポータルへのアセットのアップロードを許可し、Adobe Experience Manager Assetsへと自動的にコピーすることで、アセットの調達を容易にします。
- ダウンロードの加速化 - ビルトインのファイル高速処理機能により、アセットのダウンロードを加速させ、迅速でレスポンスなポータルソリューションを実現します。
- 本番対応コンテンツ - ダイナミックメディア機能がポータルに内蔵されており、デバイス用に最適化された、本番対応の画像や動画アセットのレンディションをダウンロードできます。
- 設定やブランディングが可能 - ポータルの視覚的な要素をブランドの外観に合わせ、使い慣れた直観的なエクスペリエンスをユーザーに提供します。

Brand Portalについてさらに詳しく：

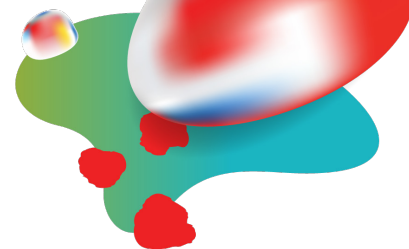
business.adobe.com/jp/products/experience-manager/assets/brand-portal.html

動画を見る：

<https://video.tv.adobe.com/v/28048>



Creative Cloudとの ネイティブ接続



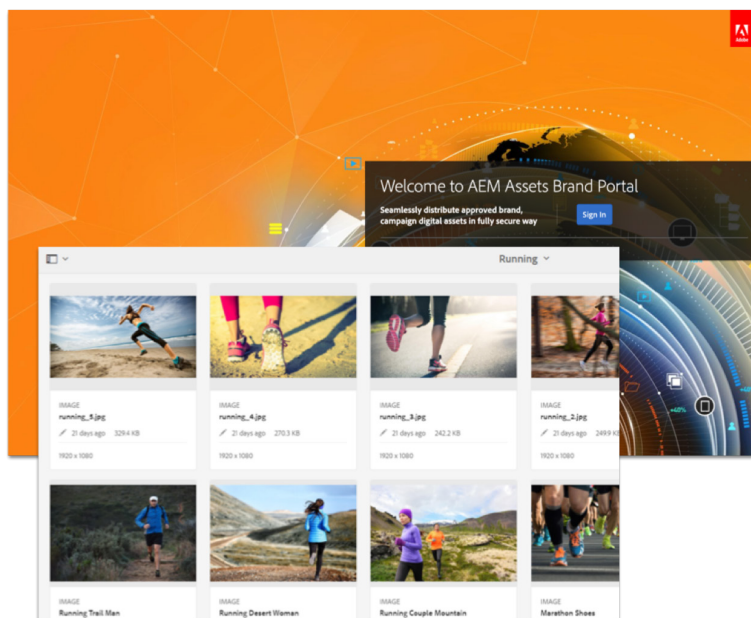
よりパーソナライズされたコンテンツと魅力的なエクスペリエンスを求める顧客の期待は高まりつつあります。この期待に応えるため、マーケターやクリエイティブチームはデザインから配信に至るまで、大規模なコンテンツの創出を最大限迅速化する必要があります。これには、クリエイターやマーケターが、自分たちの選択したツールから直接接続、制作、共同作業でき、あるシステムから次のシステムへのコンテンツの流れをつなぐための仕組みが必要となります。Adobe Experience Manager Assetsなら、コアアプリケーション内から直接クリエイティブチームに必要なコンテンツとフィードバックを提供し、マーケターはコンテンツの承認や公開を迅速におこなうことができます。アップストリームのクリエイティブワークフローとともにダウンストリームのエクスペリエンス配信を効率化することで、顧客が求めるものを必要なタイミングで提供できるようにします。

Creative Cloudとのネイティブ接続は、次のようなメリットがあります。

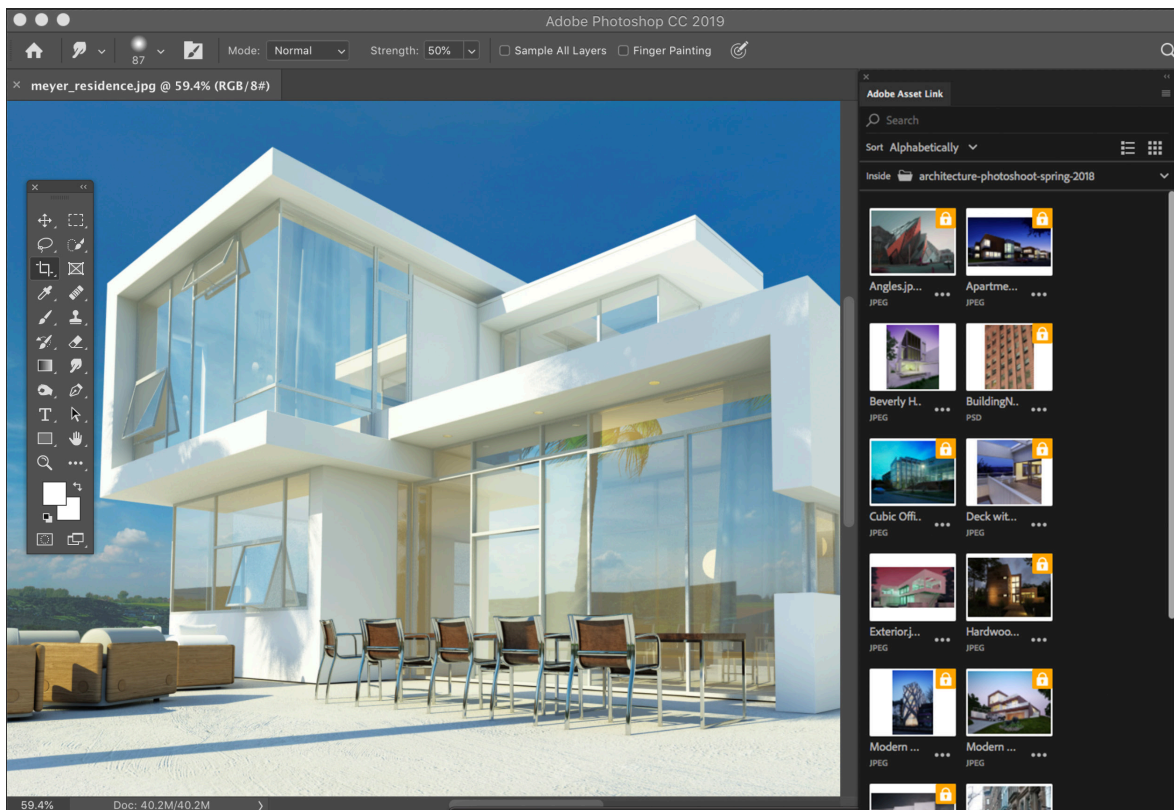
Creative CloudからAdobe Experience Managerのデジタルアセットへ直接アクセス - ネイティブ接続機能
であるAdobe Asset Linkによって、クリエイティブチームはCreative Cloudアプリケーションから直接、デジタルアセット管理 (DAM) システムに保存されているアセットを利用できます。Creative Cloudアカウント資格情報を使用したシングルサインオンにより、Adobe Photoshop、Illustrator、およびInDesign内からDAMリポジトリやCreative Cloudアセットにアクセスします。これらのアプリケーションから直接アセットをチェックインおよびチェックアウトします。クリエイティブチームとマーケティングチームは、世代管理や履歴を利用して、より効果的に並行作業や共同作業をおこなえます。クリエイティブチームがメタデータとバージョンなど、承認済みのソースコンテンツに容易にアクセスできるようにすることで、ブランドとしての一貫性とアセットの再利用を促進します。

冗長性を備えた次世代対応型ファイルサポート - バーチャルリアリティや3Dのアセット (Adobe Dimensionを使用) から、ダイナミックメディアアドオンによる魅力的な360度動画ビューアまで、革新的なエクスペリエンスの構築を支援します。

デスクトップ検索 - クリエイティブ担当者は自身のデスクトップ環境を集中管理されているDAMシステムと直接統合し、デジタルアセットを容易に検索、閲覧、使用できます。



ユーザーは設定可能なブランドポータルを利用して、組織の内外でアセットを共有および投稿できます。



Adobe Asset Linkを使用すれば、
Creative Cloudアプリケーション内から Adobe Experience Manager Assetsのアセットに直接アクセスできます。

“

Adobe Asset Linkは非常に優れています。アセットを見つけ、使用権を判断し、それらをデプロイする速度は、おそらく100倍早くなっています。数時間単位ではなく、数秒単位で新しい画像がAustinなどから届き、すぐに使うことができます。

Paul Vaughn

ユーザーエクスペリエンスディレクター、Orvis

[いくつかのブランドにおけるデジタルアセット管理のベストプラクティス（アドビブログ）](#)
[Asset Linkについてさらに詳しく](#)



インテリジェンス

魅力的な顧客体験への需要がこれまでになく高まっているなかで、予算は据え置かれ、労働集約型の手作業によるプロセスに伴う機会コストはますます増大しています。こうした手間のかかる作業を自動化してくれる適切な仕組みがなければ、チームは単調な手作業に追われるようになり、創造性を進化させることはできません。Adobe Senseiを実装したAdobe Experience Manager Assetsなら、アセットインテリジェンス機能によって手間のかかる作業を大幅に削減し、限られたリソースをより価値の高い創造やイノベーション、差別化などへ振り向けることができます。

アセットインテリジェンスと自動化には、次のようなメリットがあります。

スマートタグでアセットのタグ付けを自動化 - スマートタグ機能を使用すれば、Adobe Senseiの最先端のオブジェクト認識技術を利用して、適切で判別しやすいメタデータキーワードでアセットを分析し、自動的にタグ付けできます。スマートタグは、企業や組織が運用している独自の分類方法を学習してキーワードを適切に認識できるようになるので、手入力の手間を大幅に削減できます。Adobe Senseiは、検索キーワードを瞬時に複数の言語に翻訳し、メタデータのローカライズにかかる手間と時間を削減します。これにより、アセットの見つけやすさと柔軟性を最大限に向上させることができます。

画像および動画用のスマート切り抜きとスマートイメージングによって反復作業を削減 - Adobe Senseiを活用した画像や動画の切り抜きとその処理の自動化機能では、マーケターは時間のかかる作業をAIによって自動化できます。スマート切り抜き機能は、あらゆる画像や動画の重要部分を自動的に検出し、必要なスクリーンのサイズに合わせて配信時に重要な部分だけを取り込みます。また、スマート切り抜きには、製品画像から高品質なカラーズワッチを自動的に抽出、作成する機能も備わっています。スマートイメージング機能が、利用可能な帯域幅とデバイスタイプを自動検出し、画像のファイルサイズを配信時に最大70%削減。画像の体裁を崩すことなく、読み込みを高速化してスムーズに表示し、コンバージョンを促進します。

デジタルアセットを大規模に変換および強化 - クラウドネイティブのアプリケーションであるAdobe Experience Manager Assetsでは、複雑なプロセスを、自動化された簡単なワークフローに変えるマイクロサービスを活用できます。

柔軟で拡張性の高い基盤ですばやく統合 - Experience Manager Assetsは、強力なAPIやアプリケーションエコシステム、高度な拡張性と柔軟性を備えたクラウドネイティブのコンテンツサービス基盤です。Adobe Experience Cloud全体に対して、承認されたデジタルアセットを容易に配布でき、サードパーティのシステムにも容易に拡張可能です。

アセットインテリジェンスについてさらに詳しく：

business.adobe.com/jp/products/experience-manager/assets/asset-automation.html

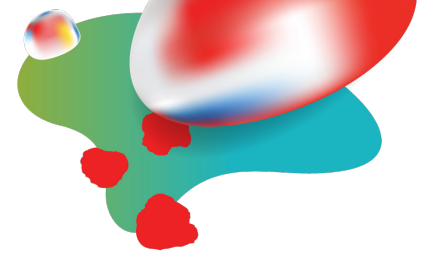


アドビは、その強力な製品エコシステムと優れたパートナーエコシステムから、取引において特によく名前が挙げられています。

「The Forrester Wave: 顧客エクスペリエンスのためのデジタルアセット管理 (2018年第2四半期)」、2018年5月



スマート切り抜きは、Adobe Senseiによって画像や動画の重要な部分だけを自動的に切り抜きます。



リッチメディアの配信

現在の顧客は、静止画や動画のエクスペリエンスのみで構成された旧式のデジタルジャーニーではなく、それ以上を期待しています。Adobe Experience Manager Assetsでは、オリジナルアセットから、リッチメディアを含むインタラクティブなエクスペリエンスを容易に作成できます。アドビのクラウド基盤を活用すれば、動的なマーケティングや視覚効果の高いエクスペリエンスを強化、公開、配信して、webやモバイル、タブレットなど、多様なチャネルやデバイスに配信できます。マーケターは、ダイナミックメディアや動画の機能を活用して、マスターアセットのセットを公開、変換し、画像や動画、キャンペーンバナー、ミックスメディアセットなどを含むインタラクティブな顧客体験を提供して、エンゲージメントやコンバージョン率を向上させることができます。

ダイナミックメディアの変換と配信には、次のようなメリットがあります。

エンゲージメントの強化 - 360度回転、代替カラーとビュー、インタラクティブズームなどの機能を備えた数十種類に及ぶビューアをカスタマイズし、顧客エンゲージメントを強化できます。画像とビューアは、ページの区切りにもとづく画面動作に合わせて自動的にリサイズされ、最適化されます。

1つのマスターファイルからシームレスなレンディションを生成 - 1つのマスターファイルから、リクエストに応じてサイズや形式、解像度、切り抜き、エフェクトを適用し、アセットのバージョンを無限に自動生成、公開します。さらに、保存しているコンテンツの量や関連するストレージのコストを削減することもできます。



Adobe Experience Manager Assetsのユーザーは、3年間でROIが366%に達したと回答しています。

「Adobe Experience Manager Assetsのビジネス価値」、IDCホワイトペーパー、2017年



1つのマスターファイルから、任意のデバイスや画面用に最適化およびパーソナライズされた複数のレンディションを生成します。

ターゲティングされたショッパブルメディアによるコンバージョンの向上 - インタラクティブなホットスポットを、クイックビューや製品詳細にリンクさせることで、ショッパブルなエクスペリエンスを容易に構築できます。動的なバナー機能を利用すれば、多変量分析テストやターゲティングされたキャンペーン、電子メールなどで使用できる、目的に合わせたメディアを必要に応じて無制限に生成できます。

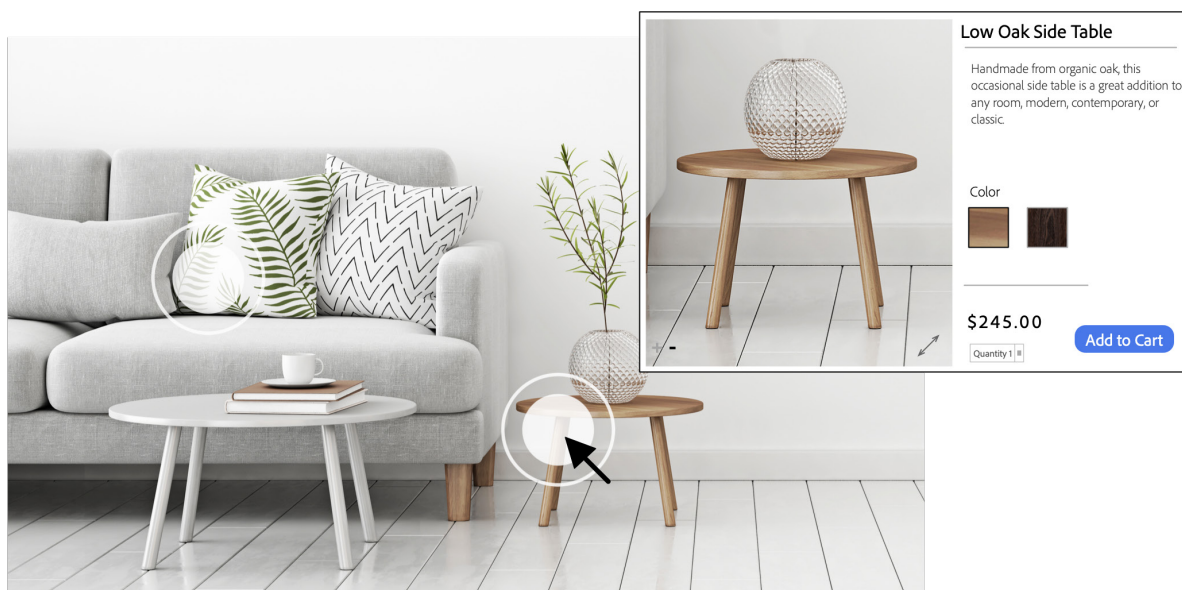
動画をあらゆるデバイスにストリーミング - デバイスや画面の検出機能により、あらゆるデバイスに最適化された動画をオンデマンドで帯域幅に応じてストリーミングできる、レスポンシブな動画プレーヤーを利用して、コンバージョンを向上させます。標準装備のHTML5対応レスポンシブビューアは、すぐに利用でき、自社ブランドのニーズに合わせたカスタマイズも可能です。また、ソーシャル共有機能やローカライズの字幕、標準の分析レポートなどを最大限に活用できます。

パーソナライズドメディアの提供 - 洗練されたビジュアルレンダリングツールや設定ツールなどを使用して、商品やメディアのパーソナライズオプションを無制限に提供します。

360度のエクスペリエンス - デバイスに合わせて最適化された没入度の高い360度の画像および動画体験を管理、提供して、エンゲージメントとインタラクティブ性を向上できます。

リッチメディア配信についてさらに詳しく:

business.adobe.com/jp/products/experience-manager/assets/rich-media-delivery.html



Adobe Experience Manager Assetsのダイナミックメディア機能を使用すれば、画像や動画にホットスポットを追加できます。

デジタル変革を推進する強力なエコシステムを備えた統合アプリケーション

Adobe Experience Managerは、より包括的なAdobe Experience Cloudの一部です。Adobe Experience Cloudに含まれる各アプリケーションをまたいで、データ、インサイト、コンテキスト、プロフィールを共有できます。これにより、価値創出までの時間を短縮し、統合されたマーケティング施策を実現できます。主な機能は次のとおりです。

- webやモバイル、電子メール、ソーシャルメディア、SMSなど、あらゆるチャネルをまたぐエクスペリエンスのパーソナライゼーションを実現する、Adobe Target／Adobe Campaignとのネイティブな接続
- 統合プロフィール、高度なセグメンテーション、予測分析などを備え、リッチな1stパーティおよび3rdパーティの顧客データへのアクセスを可能にする、Adobe Analytics とのネイティブな接続
- API、ライブラリ、関連ドキュメントを提供し、Adobe Experience Managerをあらゆる3rdパーティアプリケーションと接続するAdobe I/O

また、Adobe Experience Managerでは、導入パートナーや開発者ユーザーグループ、包括的なデジタルラーニングリソースから成る巨大なエコシステムも利用でき、デジタル変革の目標を速やかに達成できます。



サービス

600社を超える
導入認定
パートナー



コミュニティ

ガイド付きの
セルフサービス
ラーニング、
コミュニティ、
エキスパートと
つながる機会をもたらす
Experience League



デジタル基盤の ブループリント

開発者のための
ツール、
トレーニング、および
成功主導の
ベストプラクティスで
価値創生にかかる
時間を短縮



スキル

アドビデジタル
ラーニングサービス、
トレーニングおよび
認定



ガイダンス

アドビコンサルティング
サービスによって提供
される、
デジタル成熟度評価と
成功を支援する
模範的ガイダンス

Adobe Experience Managerの概要

Adobe Experience Managerなら、マーケターや開発者がweb、モバイル、ソーシャル、動画、店舗、SPA、モノのインターネット (IoT) など、あらゆるチャネルの枠を超えて顧客を魅了するデジタル体験を構築、管理、配信できます。このアプリケーションで管理できるデジタルエクスペリエンスは、webやモバイル、デジタルアセット管理、フォーム、コミュニケーションなど、多岐にわたります。また、アドビの他のアプリケーションと統合することにより、データインサイトを活用して特定のセグメントに狙いを定めたコンテンツを届け、コンテンツをパーソナライズされた魅力的な顧客体験へと昇華させ、顧客エンゲージメント、リードの創出、収益の最大化を可能にします。

詳細情報

www.adobe.com/go/aem_jp



Adobe, the Adobe logo, Adobe Experience Cloud, the Adobe Experience Cloud logo, Adobe Sensei, Creative Cloud, Illustrator, InDesign, and Photoshop are either registered trademarks or trademarks of Adobe in the United States and/or other countries. All other trademarks are the property of their respective owners.

© 2021 Adobe. All rights reserved.